

子どもたちの成長や学びを、 学校と家庭・地域が一体となった 取組として進めていくために

境港市では、令和5年度でコミュニティ・スクールがスタートして、第一中学校区が5年目、第三中学校区が4年目、第二中学校区が3年目を迎えました。

各中学校区ごとに、コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)の仕組みを活用し、よりよい学校運営をめざし、子どもたちのよりよい学びや環境を整えるために、「地域とともにある学校づくり」を目指して様々な活動が展開されています。

ここで、改めて、コミュニティ・スクールの仕組みについてふりかえてみたいと思います。

各中学校区の学校運営協議会では、小・中学校9年間を見通して、子どもや学校をめぐる学習指導や生徒指導上の課題を踏まえつつ、「何に取り組む必要があるのか」「何ができるのか」、地域住民等(保護者を含む)の声を学校運営の充実や改善に反映させながら協議を行う場として位置づけています。

前号でもお知らせをしていますように、各中学校区学校運営協議会の第1回会合では、学校が抱える課題を含め、今年度大切にしたい取組や年間の地域人材や素材を活用した学習の計画、地域活動とのかかわりなどが説明されています。

なかなか、年度初めの学校運営協議会では、委員の方々から多岐にわたる意見や提案があり、「今年度は・・・なことを重点的に取り組もう。」といった協議にまで落とし込めなかったところもあるようですが、今後、家庭・地域の皆さんを含めた熟議や学校運営協議会の部会等の協議により、従来からある活動を充実させたり、新たな取組を地域の関係団体につないだりすることによって、子どもたちの成長や学びを支えていく活動(地域学校協働活動)が展開されていくものと思われます。

具体の活動につなぐにあたり大切なこと

地域学校協働活動には、各中学校区で工夫された取組がありますが、一つ一つの活動が「何のために行われるのか」「子どもたちのどんな学びにつながるのか」をきちんととらえ、かかわる人たちや関係の団体のみなさんに理解してもらうことが大切です。

※地域学校協働活動には次のようなものみられます。

■学校支援の活動(主な内容)

小中学校の学習場面に地域の方の協力をいただき、担任や担当の先生と一緒に子どもたちの指導に当たってもらうことがあります。学校の年間計画に基づいて行われています。

- ・生活科・・・町探検、夏野菜の植付
- ・家庭科・・・裁縫、ミシン指導
- ・国語・・・古文暗唱
- ・算数・・・かけ算九九暗唱 等

▼地域大好きクラブ(いただきづくり)

■子どもたちの学びによるまちづくり

総合的な学習の時間などで、地域の様々な課題(まちの活性化・防災・地域の伝統行事等)をテーマに、自分たちで課題を発見し、解決のために、地域に出かけて様々な情報を収集し、そして、自分たちでよりよい解決のための取組を考えたり、提案したりするなど、地域とのつながりを深く学んでいます。

■地域活動への子どもたちの参加・参画

地域活動に子どもたちが参加するだけでなく、企画段階から参画して、地域の人たちとつながり、地域活動への関心を高めることにつながります。

- ・津波防災訓練 ・地域の清掃活動
- ・公民館祭りへの企画・参画等

■放課後の子どもの居場所・宿題見守り

家でも学校でもなく、子どもたちが居心地のいい場所で、自主的に学習に取り組んだり、相談できたり、体験的な活動ができた場所を設け、地域の人とのつながりを感じたりできるようにします。

- ・放課後子どもタイム(余子公)
- ・シークレット・ベース誠道(誠道公)
- ・放課後宿題見守り活動(上道・外江小)
- ・中高生を中心とした学習・交流スペースの設置(境公)

■土・日曜日や休日の教育活動・居場所

振替休業日や学校がお休みの日に、家庭で子どもたちの面倒を見ることができにくい環境にある子どもたちの居場所として、いろいろな体験活動できる機会を設けて地域全体で子育て環境を整えていく取組です。

こうした取組は、家庭支援の取組としても考えられます。(渡・外江公民館等)



これらは、あくまで、事例であり、中学校区によって、こうした取組はすべて取り扱われるものではなく、学校が抱える課題や地域の課題に基づいて、重点化した取組として実施されています。

地域の方の協力による学校の学習や教育活動については、子どもたちの学習の年間計画に位置づけた活動にすることで、地域の方々にとっては、見通しを持って参加することが可能になります。

また、学校運営協議会や地域住民を含めた熟議等で協議され、必要であるとされた活動については、地域学校コーディネーターや公民館の職員をはじめ、地域学校協働本部の運営委員等が間に入って、地域関係団体とともに活動を組み立てていくことにもなります。

とにかく、活動をすることだけを目的とせず、活動がどんな子どもたちの学びにつながるのか、どんな課題の解決につながる活動なのかを意識して、活動後にかかわった子どもたちや地域の方々と振り返りをするのが大切です。



▲公民館スペースを活用した中学生の自主学習の様子